

随意契約結果及び契約の内容

工 事 の 名 称	福岡空港事務所新庁舎・管制塔新築工事
工 事 概 要	<p>新庁舎 鉄骨造、地上 7 階建、建築面積 2,756.77 m²／延床面積 17,943.34 m²、 建築工事、電気設備工事、機械設備工事、昇降機設備工事</p> <p>新管制塔 鉄骨造、地上 13 階建、建築面積 317.60 m²／延床面積 3,305.51 m²、 建築工事、電気設備工事、機械設備工事、昇降機設備工事</p>
契約担当官等の 氏名並びにその 所属する部局の 名称及び所在地	<p>支出負担行為担当官 大阪航空局長 小池 慎一郎</p> <p>大阪府大阪府中央区大手前 4-1-76</p>
契 約 年 月 日	令和 4 年 9 月 6 日
契 約 業 者 名	大成建設株式会社九州支店
契約業者の住所	福岡市博多区住吉四丁目 1 番 2 7 号
契 約 金 額	11,990,000,000 円（税込）
予 定 価 格	12,122,000,000 円（税込）
随意契約による こととした理由	<p>本工事は、福岡空港滑走路増設事業に伴い、現在国内線地区（東側）に配置している庁舎・管制塔を国際線地区（西側）に移転整備するものである。</p> <p>移転先における新庁舎・管制塔の建設地は、三方が構内道路等に、一方が空港駐車場に囲まれた狭隘な用地での厳しい制限下における施工となり、これらの道路交通及び駐車場利用者に与える影響を最小限に抑える必要があることなど、発注者においては仕様の確定が困難である。</p> <p>そのため、施工者独自のノウハウ等を活用した工法選定や施工計画（仮設等）により仕様を確定する必要があるため、設計段階から施工者独自のノウハウ等を活用する発注方式（技術提案・交渉方式（技術協力・施工タイプ））を採用し、技術提案に基づき選定された優先交渉権者と技術協力業務の契約を締結し、別の契約に基づき実施している設計に優先交渉権者の技術提案内容を反映し、目標工期、工事額を算定した上で、価格等の交渉を行い交渉が成立したところである。</p> <p>本工事は、この技術協力業務を反映した設計・施工計画に基づく工事を行うものであることから、技術提案者である大成建設株式会社九州支店が本工事の実施が可能な唯一の者である。</p> <p>よって、会計法第 29 条の 3 第 4 項及び予算決算及び会計令第 102 条の 4 第 3 号により、大成建設株式会社九州支店と随意契約を締結するものである。</p>
業 務 場 所	福岡県福岡市博多区雀居（福岡空港内）
業 種 区 分	建築工事業
履 行 期 間（自）	令和 4 年 9 月 7 日
履 行 期 間（至）	令和 6 年 1 0 月 3 1 日
備 考	